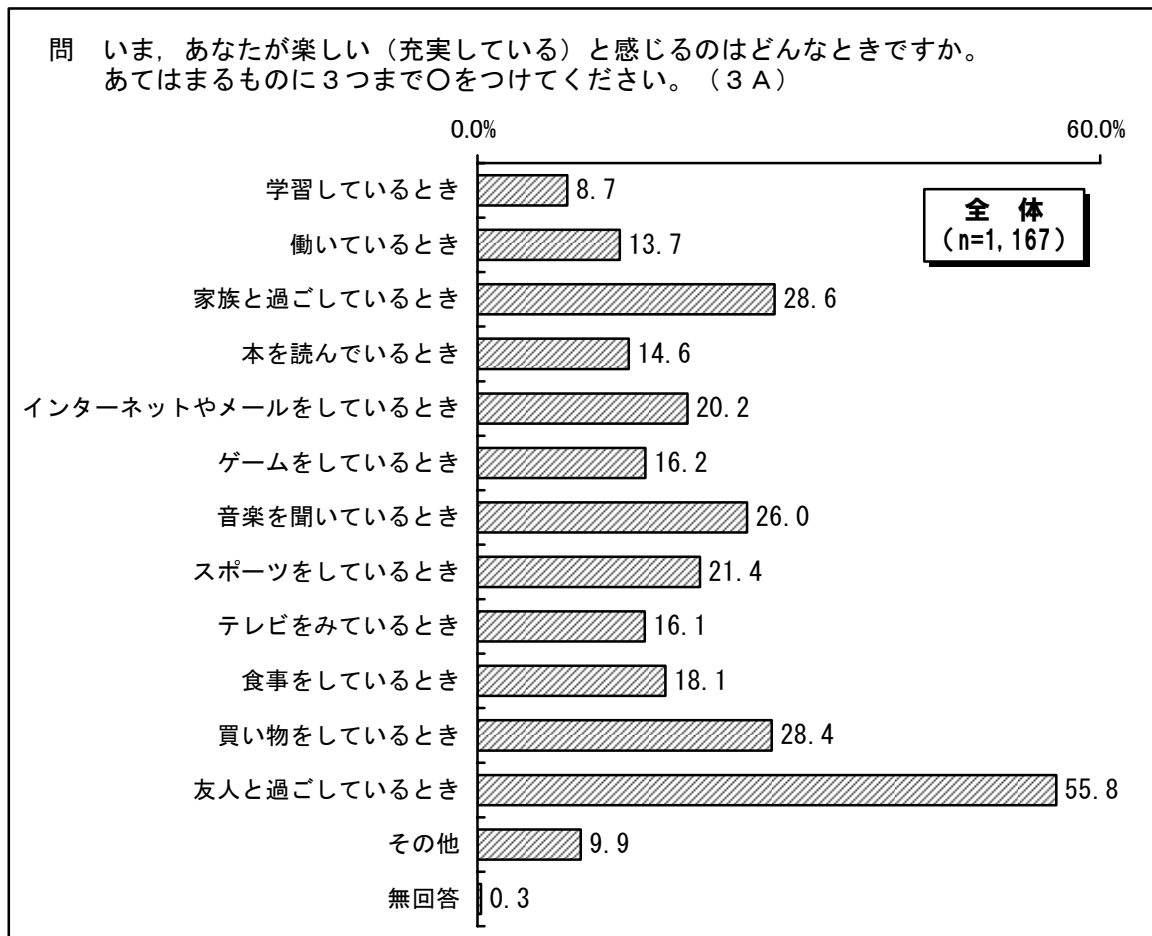


## II 調査結果

## 1. 自身のことについて

### (1) 現時点での自身について

#### ① 楽しい（充実している）と感じるとき



6割弱が「友人と過ごしているとき」が楽しいと感じている。

#### 【全体結果の要約】

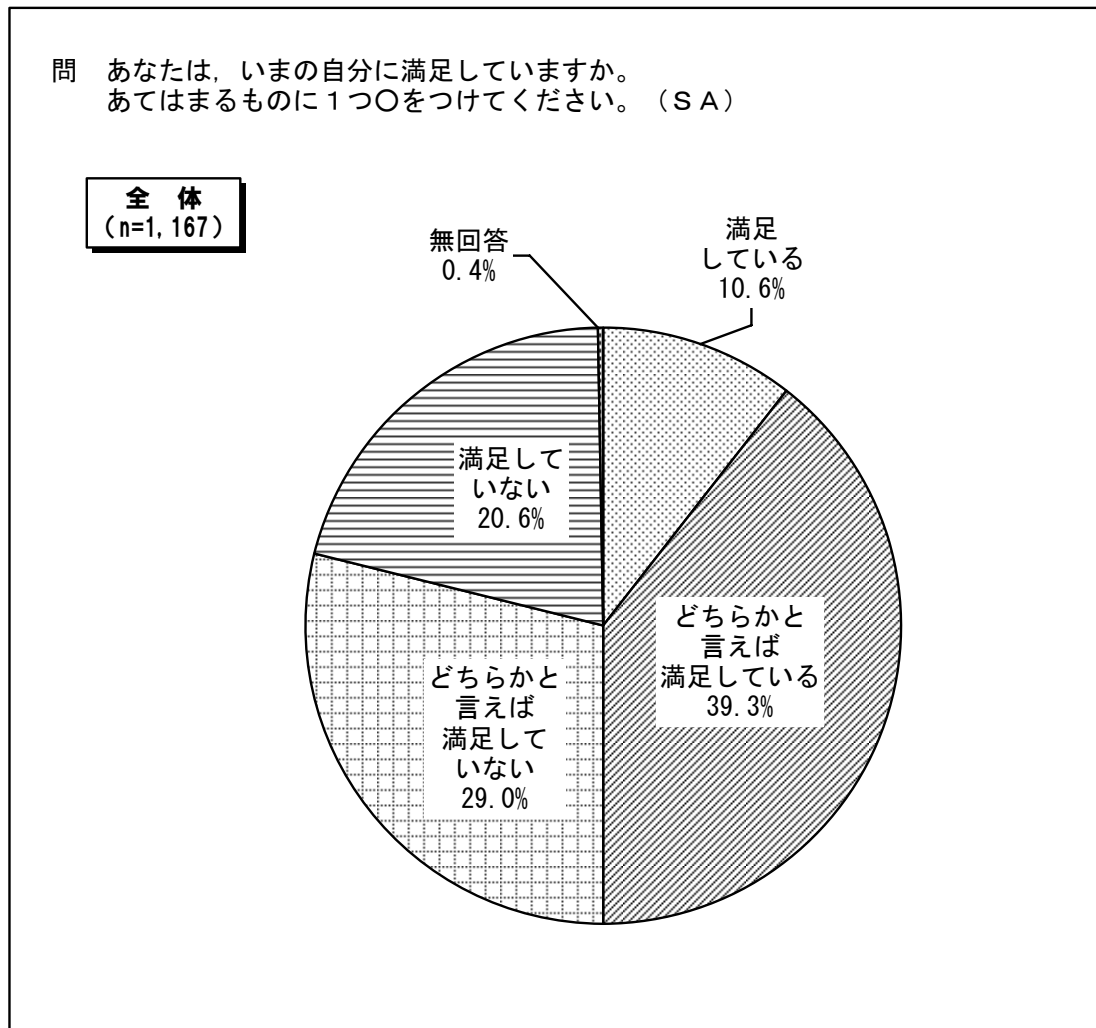
最も多いのは「友人と過ごしているとき」で6割弱（55.8%）と、他を大きく引き離している。以下、「家族と過ごしているとき」（28.6%）、「買い物をしているとき」（28.4%）がほぼ並び、「音楽を聞いているとき」（26.0%）、「スポーツをしているとき」（21.4%）、「インターネットやメールをしているとき」（20.2%）と続いて、2割台の回答率を獲得している。

回答率が1割台だったのは、「食事をしているとき」（18.1%）、「ゲームをしているとき」（16.2%）、「テレビをみているとき」（16.1%）、「本を読んでいるとき」（14.6%）、「働いているとき」（13.7%）である。

最も少ないのは「学習しているとき」（8.7%）で、回答率は1割に満たない。

その他は、「趣味の活動をしているとき」（18名）、「恋人と過ごしているとき」（16名）、「（自動車またはバイクで）ドライブをしているとき」（10名）などが寄せられている。

② いまの自分への満足状況



いまの自分については『満足している』と『満足していない』がほぼ半々ずつ。

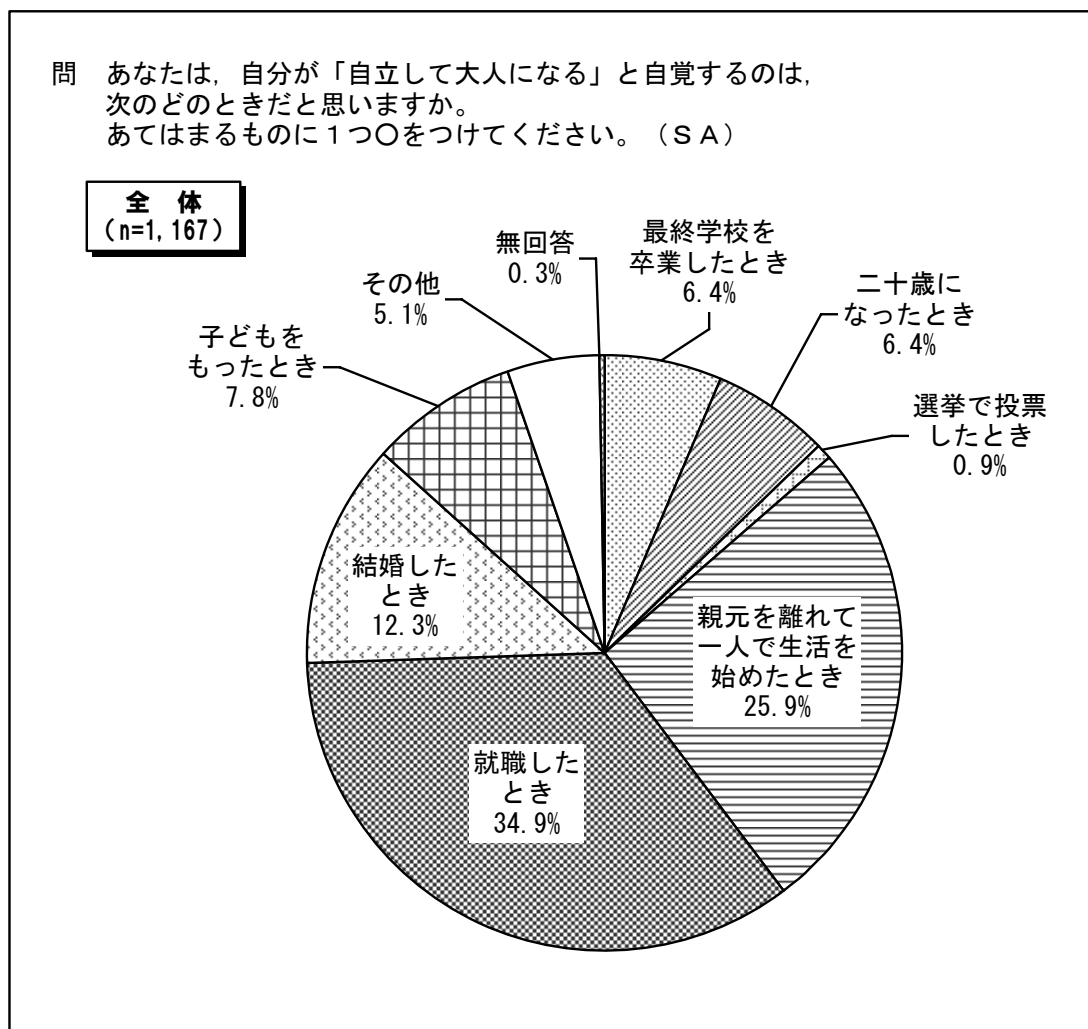
【全体結果の要約】

「どちらかと言えば満足している」が約4割（39.3%）と最も多く、次いで「どちらかと言えば満足していない」が3割弱（29.0%）となっている。「満足していない」と回答した人も、約2割（20.6%）存在する。

「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合わせた『満足している』は約5割（49.9%）、「どちらかと言えば満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』も約5割（49.6%）で、ほぼ半々ずつという結果になっている。

## (2) 自立について

### ① 「自立して大人になる」と自覚するとき



3割強が「就職したとき」に自立して大人になると自覚する。

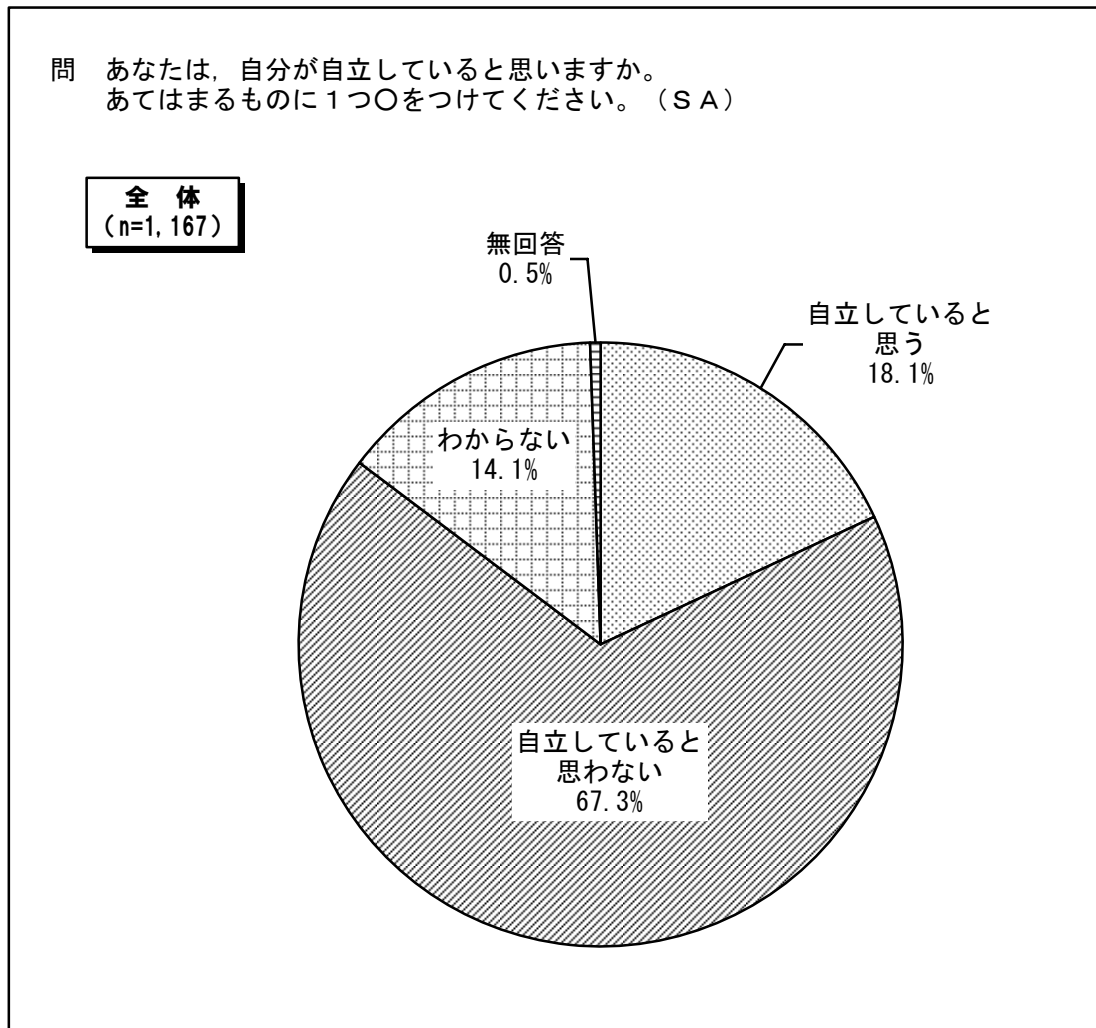
#### 【全体結果の要約】

最も多いのは「就職したとき」で、3割強（34.9%）の人が回答している。次いで「親元を離れて一人で生活を始めたとき」が3割弱（25.9%）で多く、この二つを合わせた『経済面または生活面で、親から離れたとき』が約6割（60.8%）となっている。

一方、「結婚したとき」（12.3%）と「子どもを持ったとき」（7.8%）の『結婚や出産』に関する回答は、合わせて約2割（20.1%）である。「二十歳になったとき」（6.4%）と「選挙で投票したとき」（0.9%）の『成人年齢』に関する回答は、合わせても7.3%と1割に満たない。

その他は、「自分のお金で生活を始めたとき」「わからない」（各5名）、「精神的に自立したとき」（4名）、「自分が自立したと思ったとき」（3名）などが寄せられている。

## ② 自立の状況



7割弱が自分を「自立していると思わない」。

### 【全体結果の要約】

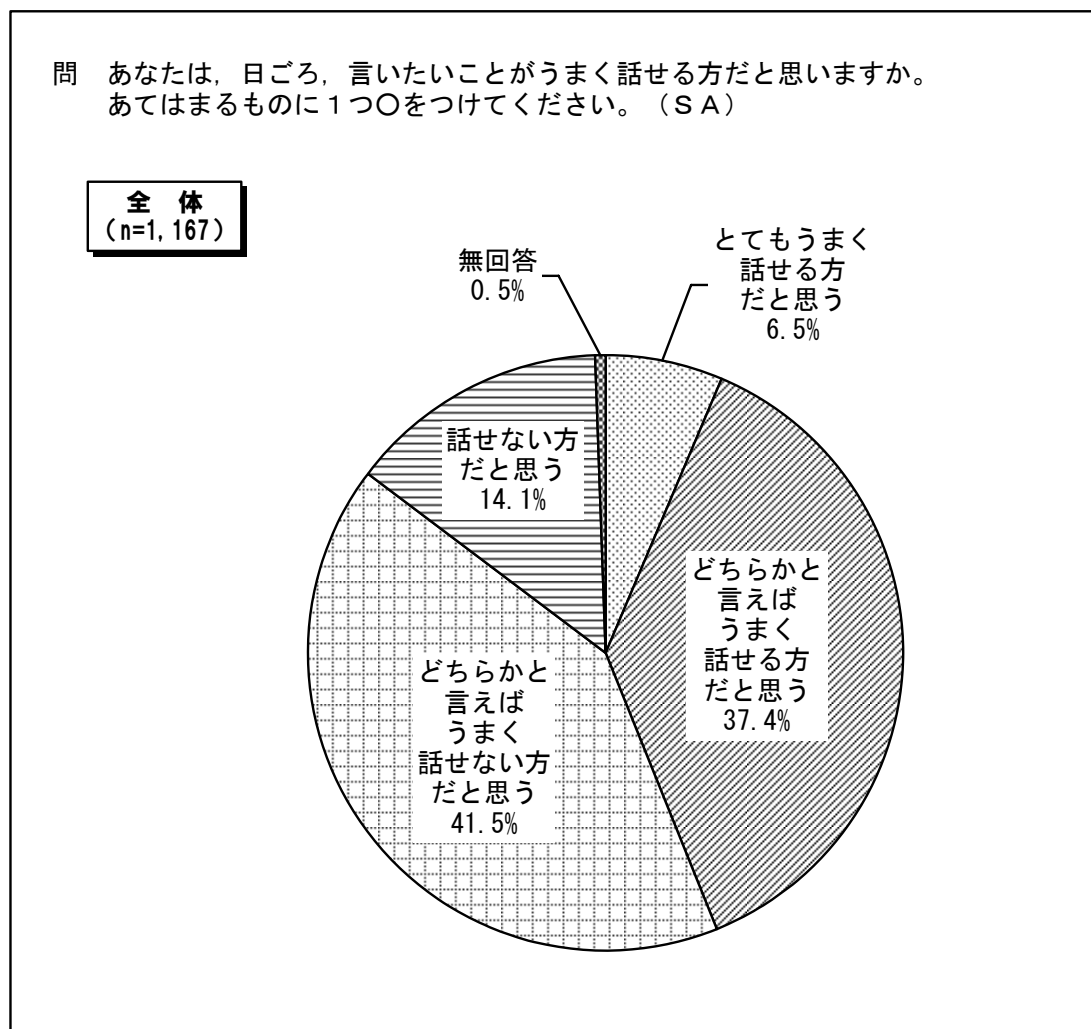
「自立していると思わない」が最も多く、7割弱（67.3%）を占める。これに対し、「自立していると思う」とはっきり自立していることを自覚している人は2割弱（18.1%）である。

一方で「わからない」との回答も14.1%見られ、概ね10人に1人が『自分が自立しているかどうか、判断が付かない』との結果になった。

### (3) 周囲とのコミュニケーションについて

#### ① 自分の会話（表現）能力について

問 あなたは、日ごろ、言いたいことがうまく話せる方だと思いますか。  
あてはまるものに1つ○をつけてください。（SA）



6割弱が言いたいことを『話せない方』だと思っている。

#### 【全体結果の要約】

「どちらかと言えばうまく話せない方だと思う」が4割強（41.5%）で最も多く、次いで「どちらかと言えばうまく話せる方だと思う」が4割弱（37.4%）となっている。

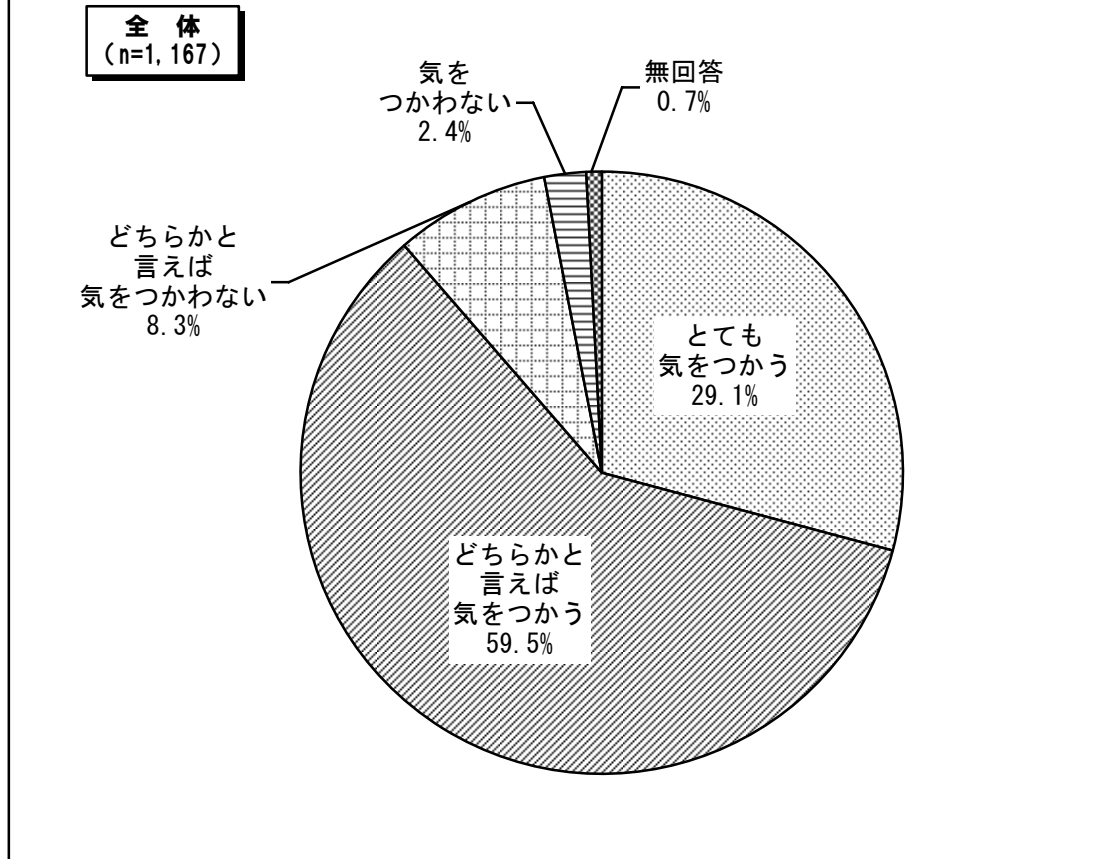
「どちらかと言えばうまく話せない方だと思う」と「話せない方だと思う」を合わせた『話せない方』は、6割弱（55.6%）となっている。対して、「とてもうまく話せる方だと思う」と「どちらかと言えばうまく話せる方だと思う」を合わせた『話せる方』は4割強（43.9%）と、『話せない方』だと思っている人の割合が、『話せる方』だと思っている人の割合を上回っている。

② 人とのつきあいについて

②-1 人とのつきあいにおける気づかいについて

問 あなたの人とのつきあいについてお聞きします。  
あてはまるものに1つ○をつけてください。

(1) 人とのつきあいにいつも気をつかう方ですか。(SA)



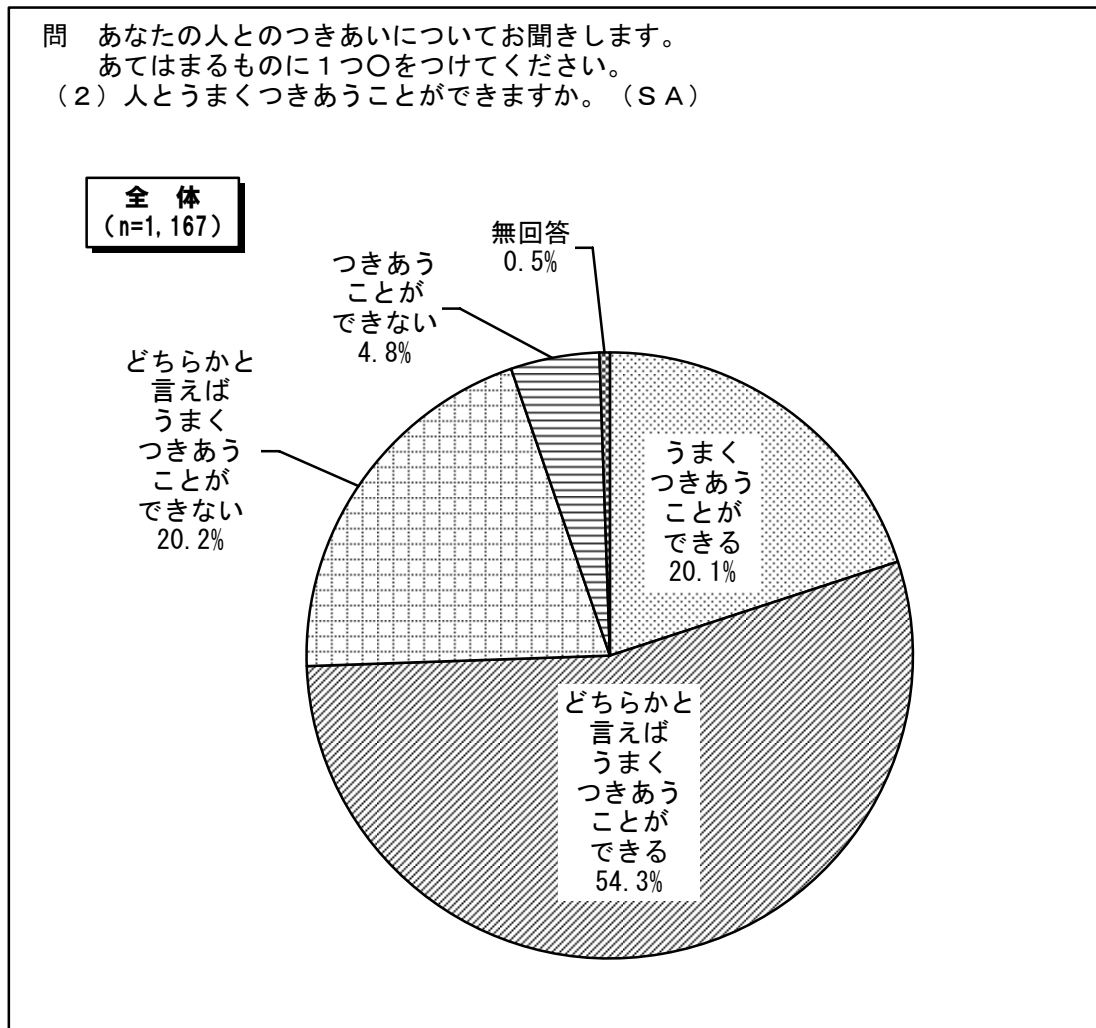
9割弱が人とのつきあいに『気をつかう』。

【全体結果の要約】

「どちらかと言えば気をつかう」が約6割(59.5%)で最も多く、「とても気をつかう」が約3割(29.1%)で続く。この二つを合わせた『気をつかう』は9割弱(88.6%)で、大勢を占めている。

これに対し、「どちらかと言えば気をつかわない」(8.3%)と「気をつかわない」(2.4%)を合わせた『気をつかわない』は、約1割(10.7%)であった。

②-2 自分の人とのつきあいについて



概ね4人に3人は『つきあい上手』、残る1人は『つきあい下手』と感じている。

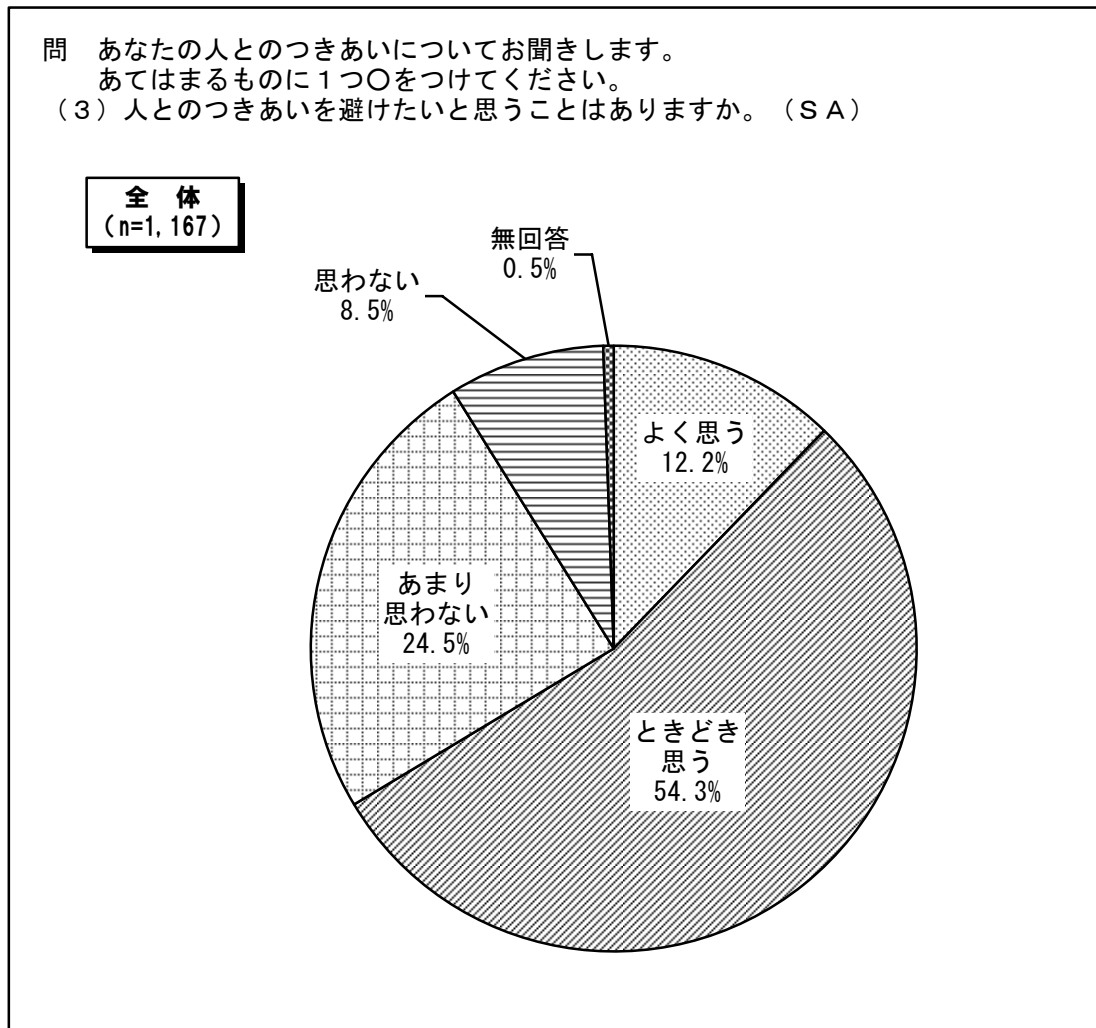
【全体結果の要約】

「どちらかと言えばうまくつきあうことができる」(54.3%)が最も多く、5割強を占めている。次いで、「どちらかと言えばうまくつきあうことができない」(20.2%)、「うまくつきあうことができる」(20.1%)が、それぞれ約2割で続いている。

「うまくつきあうことができる」と「どちらかと言えばうまくつきあうことができる」を合わせた『つきあい上手』は7割強(74.4%)、一方で「どちらかと言えばうまくつきあうことができない」と「つきあうことができない」を合わせた『つきあい下手』は、2割強(25.0%)である。概ね4人に3人は『つきあい上手』、残る1人は『つきあい下手』と感じているとの結果になっている。



②-3 人とのつきあいを避けたいと思うことがあるか



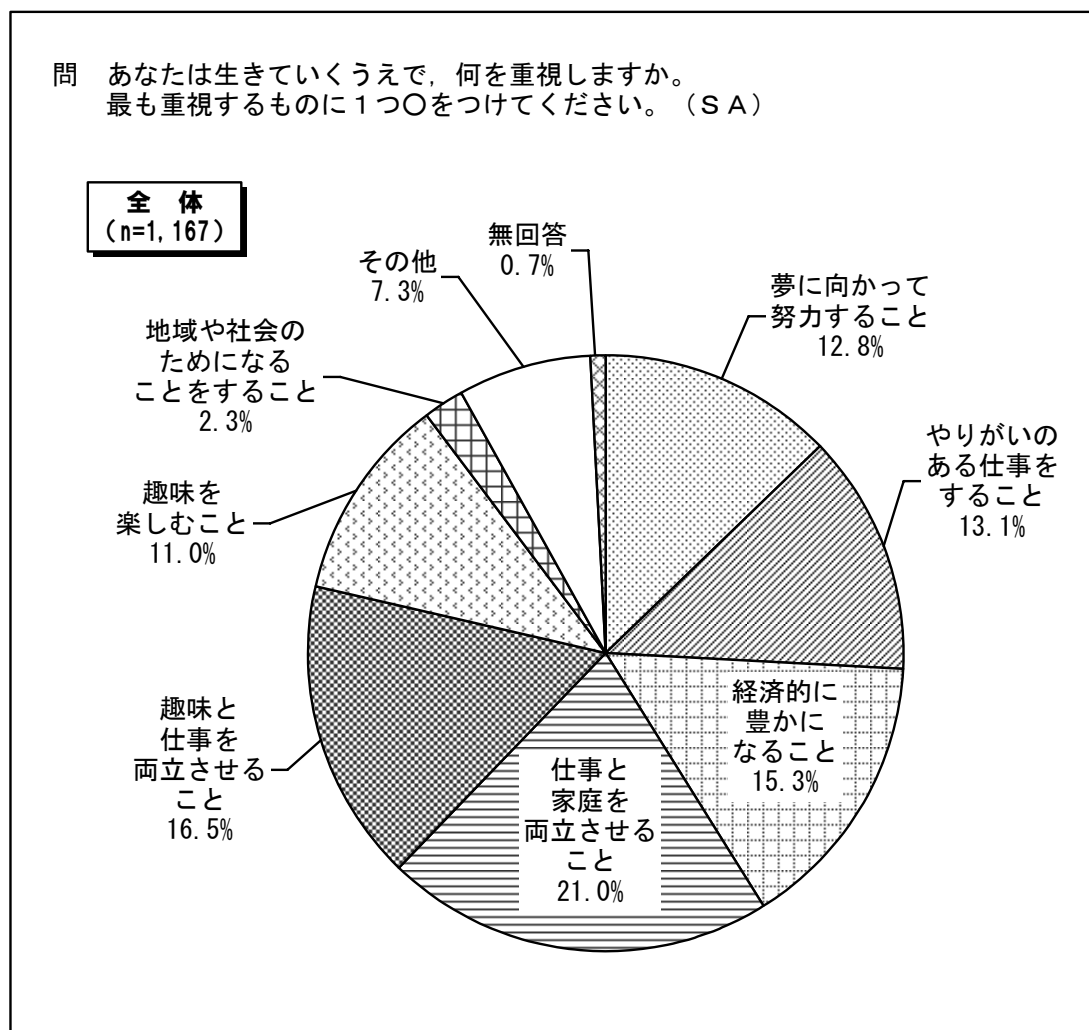
概ね3人に2人はつきあいを避けたいと『思う』ことがあり、残る1人が『思わない』。

【全体結果の要約】

「ときどき思う」が最も多く、5割強（54.3%）を占めている。次いで、「あまり思わない」が2割強（24.5%）、「よく思う」が1割強（12.2%）で続く。

「よく思う」と「ときどき思う」を合わせた『思う』が7割弱（66.5%）、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が3割強（33.0%）で、概ね3人に2人はつきあいを避けたいと『思う』ことがあり、残る1人が『思わない』との結果になっている。

#### (4) 生きていくうえで重視することについて



4割弱が生きていくうえで『仕事と私生活との両立』を重視している。

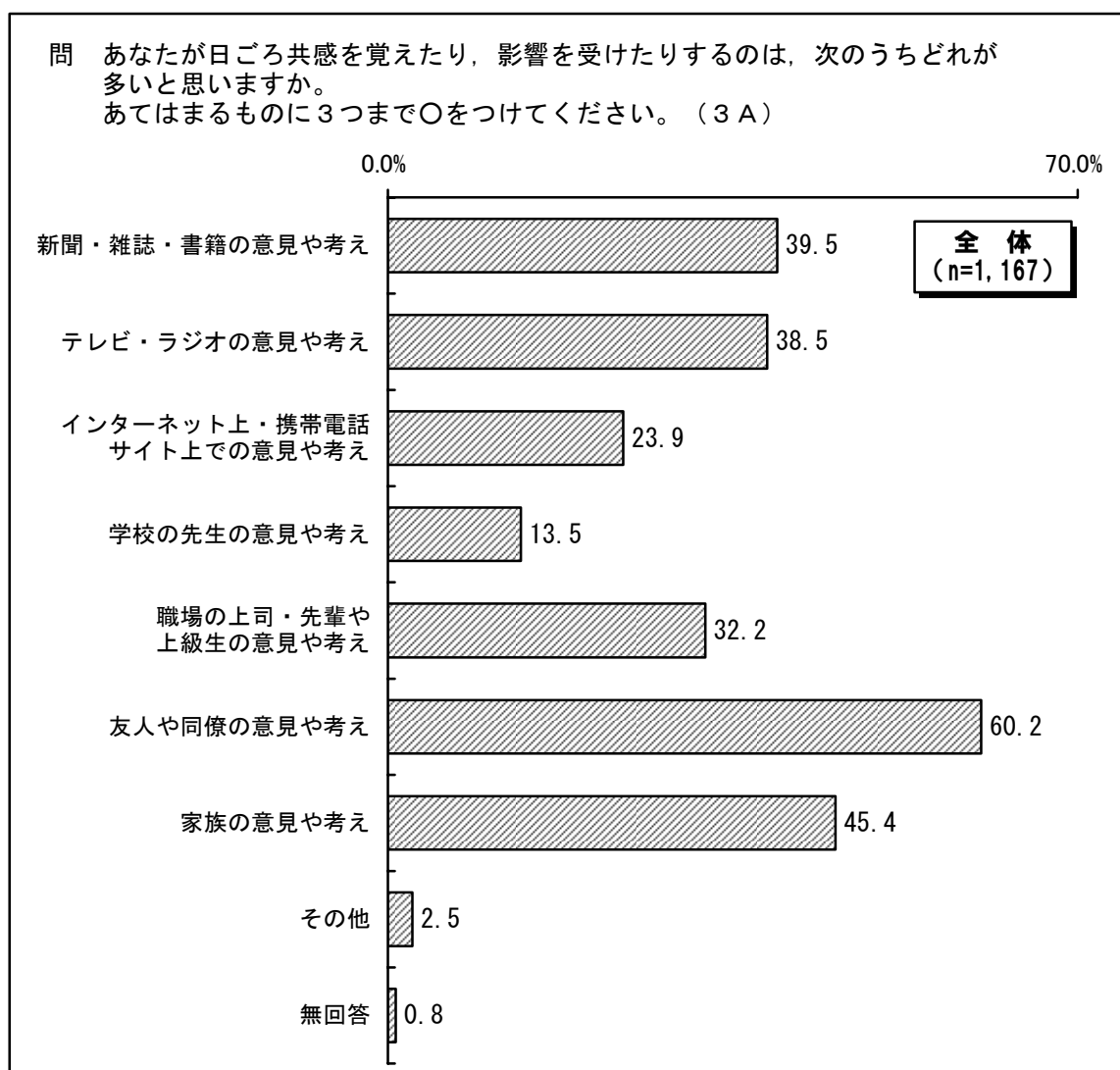
#### 【全体結果の要約】

「仕事と家庭を両立させること」(21.0%)が最も多く、唯一回答率が2割台である。以下、「趣味と仕事を両立させること」(16.5%)、「経済的に豊かになること」(15.3%)、「やりがいのある仕事をする事」(13.1%)、「夢に向かって努力すること」(12.8%)の順で続いている。一方、選択肢中で「地域や社会のためになることをすること」のみ2.3%と目立って低い。

「仕事と家庭を両立させること」と「趣味と仕事を両立させること」を合わせた『仕事と私生活の両立』が、4割弱(37.5%)を占めている。

その他は、「人生を楽しむこと」(15名)、「家庭内の充実、または家族の幸せ」(14名)、「人とのコミュニケーション」(9名)などが寄せられている。

## (5) 共感や影響を受ける対象



約6割が「友人や同僚の意見や考え」に共感を覚えたり影響を受けたりしている。

### 【全体結果の要約】

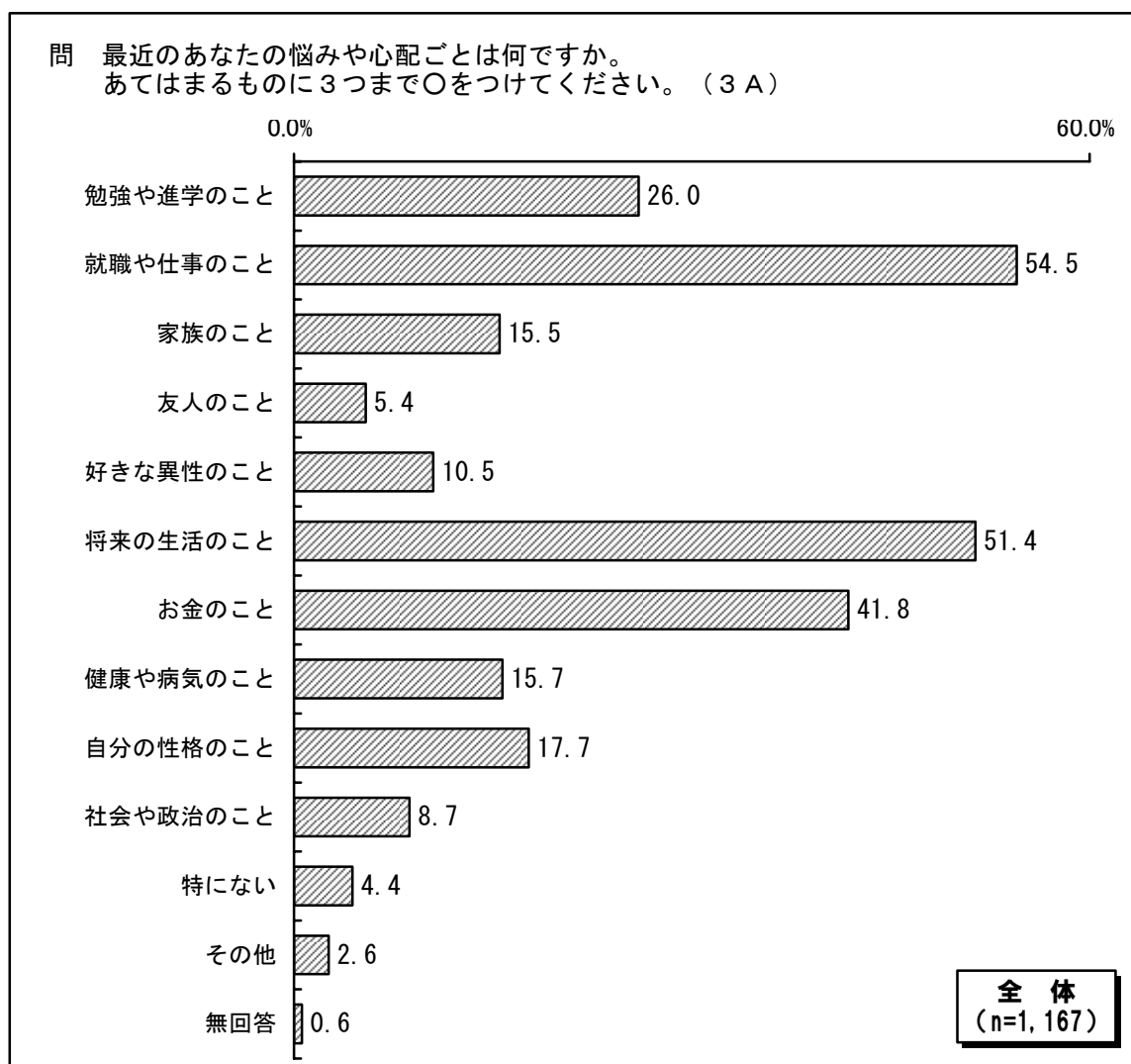
「友人や同僚の意見や考え」が約6割(60.2%)で最も多く、唯一過半数となっている。次いで「家族の意見や考え」が5割弱(45.4%)と、身近な人の意見に共感を覚えたり影響を受けたりする傾向が強い。

『マスメディア』については、「新聞・雑誌・書籍の意見や考え」が約4割(39.5%)、「テレビ・ラジオの意見や考え」が4割弱(38.5%)と、ともに回答率3割台である。『コミュニケーションメディア』である「インターネット上・携帯電話サイト上の意見や考え」は2割強(23.9%)と、『マスメディア』が『コミュニケーションメディア』を10ポイント以上上回っている。

最も少ないのは「学校の先生の意見や考え」(13.5%)で、唯一、回答率1割台である。その他は、「特になし」(8名)、「音楽」(6名)などが寄せられている。

## (6) 悩みや心配ごとについて

### ① 悩みや心配ごとの内容



悩みや心配ごとのトップ3は、「就職や仕事のこと」「将来の生活のこと」「お金のこと」。

#### 【全体結果の要約】

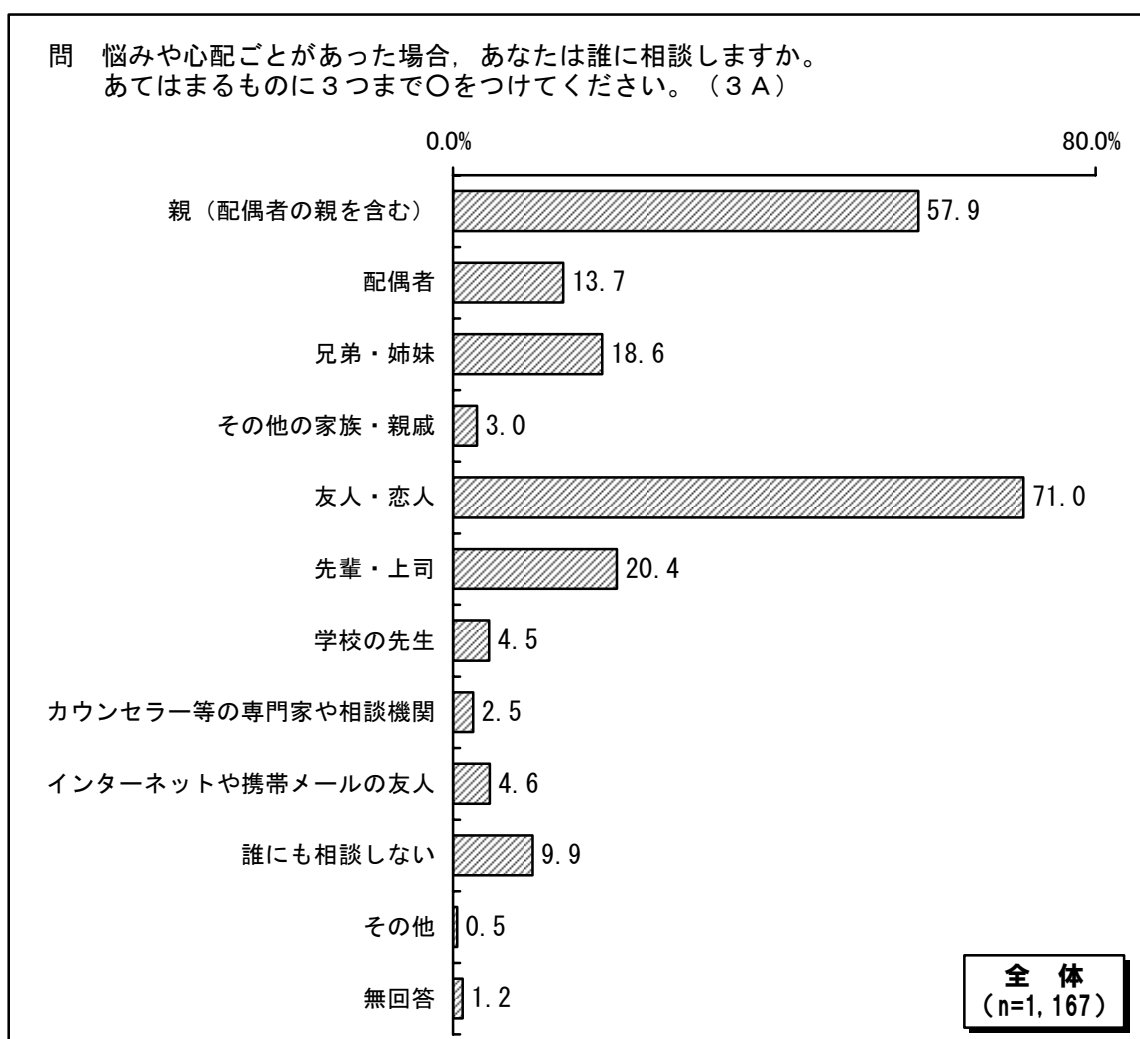
「就職や仕事のこと」(54.5%)が最も多く、「将来の生活のこと」(51.4%)が続く。この2つは5割強の人が回答している。3番目は「お金のこと」(41.8%)で、これら3つは他の選択肢を引き離して多い。以下、「勉強や進学のこと」(26.0%)、「自分の性格のこと」(17.7%)の順で続く。

対人関係の選択肢で最も多かったのは「家族のこと」(15.5%)だが、回答率1割台に止まっている。

悩みや心配ごとが「特にない」人は4.4%と、1割に満たない。

その他は、「自分の容姿のこと」「子育てのこと」(各4名)、「部活のこと」「結婚のこと」(各3名)などが寄せられている。

## ② 悩みや心配ごとがあった場合の相談相手



過半数が「友人・恋人」および「親 (配偶者の親を含む)」を相談相手としている。

### 【全体結果の要約】

「友人・恋人」(71.0%)が最も多く、「親 (配偶者の親を含む)」(57.9%)が続く。この2つは過半数の人が回答しており、他の選択肢を引き離して多い。以下、「先輩・上司」(20.4%)、「兄弟・姉妹」(18.6%)、「配偶者」(13.7%)の順で続く。

一方、最も少なかったのは「カウンセラー等の専門家や相談機関」(2.5%)である。ほか回答率が1割に満たなかったのは、「その他の家族・親戚」(3.0%)、「学校の先生」(4.5%)、「インターネットや携帯メールの友人」(4.6%)となっている。「友人・恋人」と比べ、友人であっても直接面識の無い「インターネットや携帯メールの友人」を相談相手に選ぶことは非常に少ない。

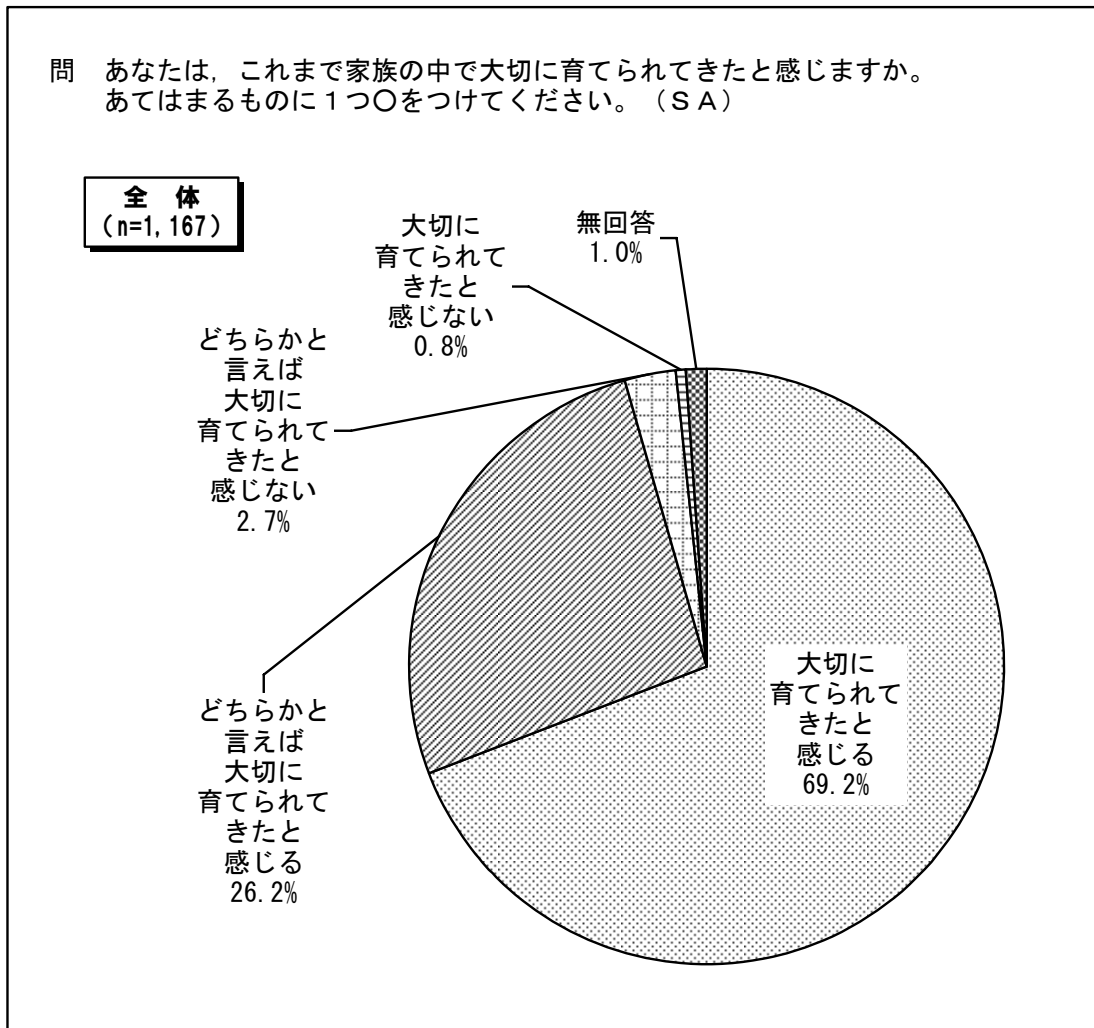
なお、「誰にも相談しない」は9.9%と、概ね10人に1人は誰にも相談せず自力のみで対応しているとの結果になっている。

その他は、「話しやすい人」「同僚」「格闘技を一緒にやっている人」「病院」「ペット」(各1名)が寄せられている。

## 2. 一緒に過ごしてきた家族のことについて

### (1) 生育過程における家族との関係

#### ① 家庭における育てられ方



約7割が家族の中で「大切に育てられてきたと感じる」。

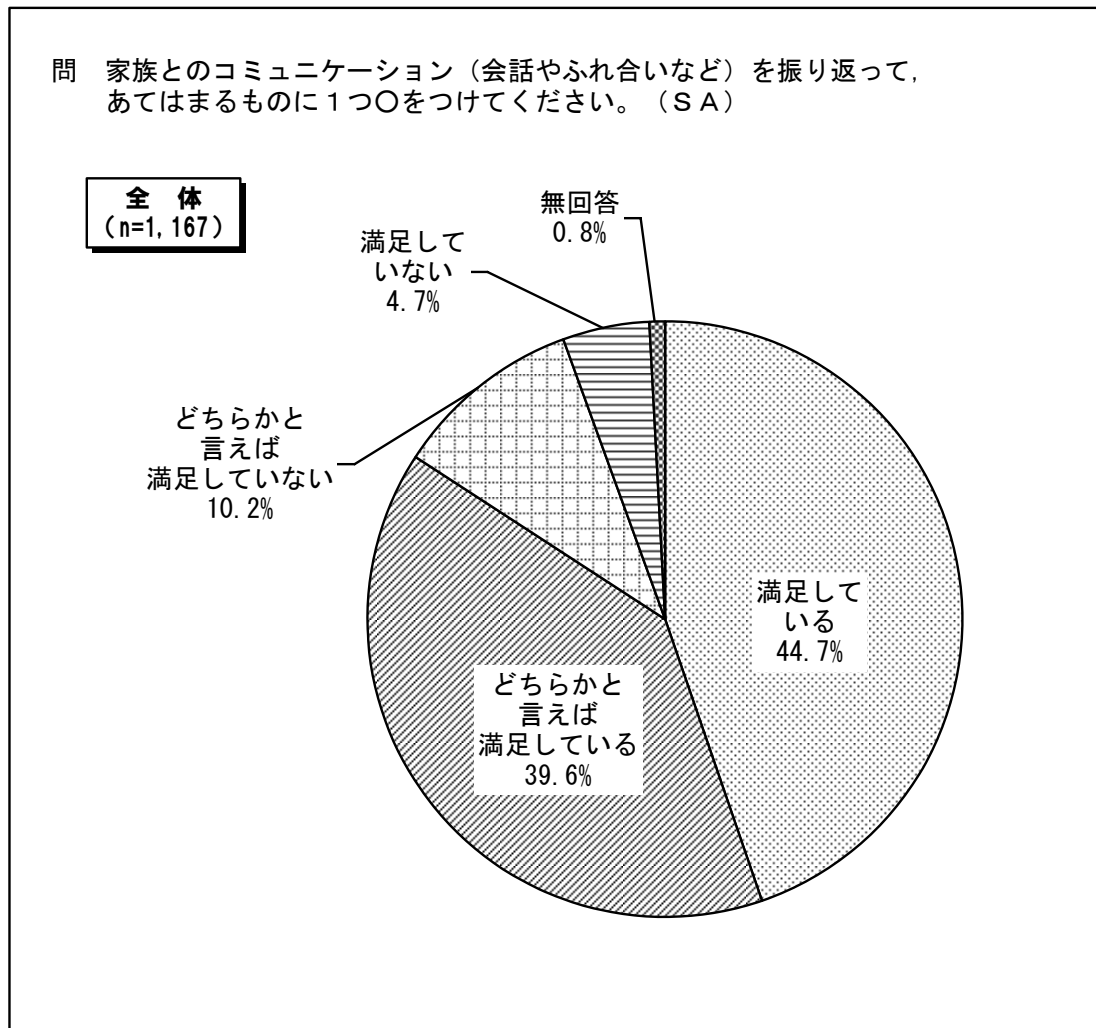
#### 【全体結果の要約】

「大切に育てられてきたと感じる」が最も多く、約7割(69.2%)を占めている。次いで、「どちらかと言えば大切に育てられてきたと感じる」が3割弱(26.2%)と、「大切に育てられてきたと感じる」と「どちらかと言えば大切に育てられてきたと感じる」を合わせた『大切に育てられてきたと感じる』が95.4%と、大勢を占めている。

これに対し、「どちらかと言えば大切に育てられてきたと感じない」と「大切に育てられてきたと感じない」を合わせた『大切に育てられてきたと感じない』は、わずか3.5%である。

## ② 家族とのコミュニケーション

問 家族とのコミュニケーション（会話やふれ合いなど）を振り返って、  
あてはまるものに1つ○をつけてください。（SA）



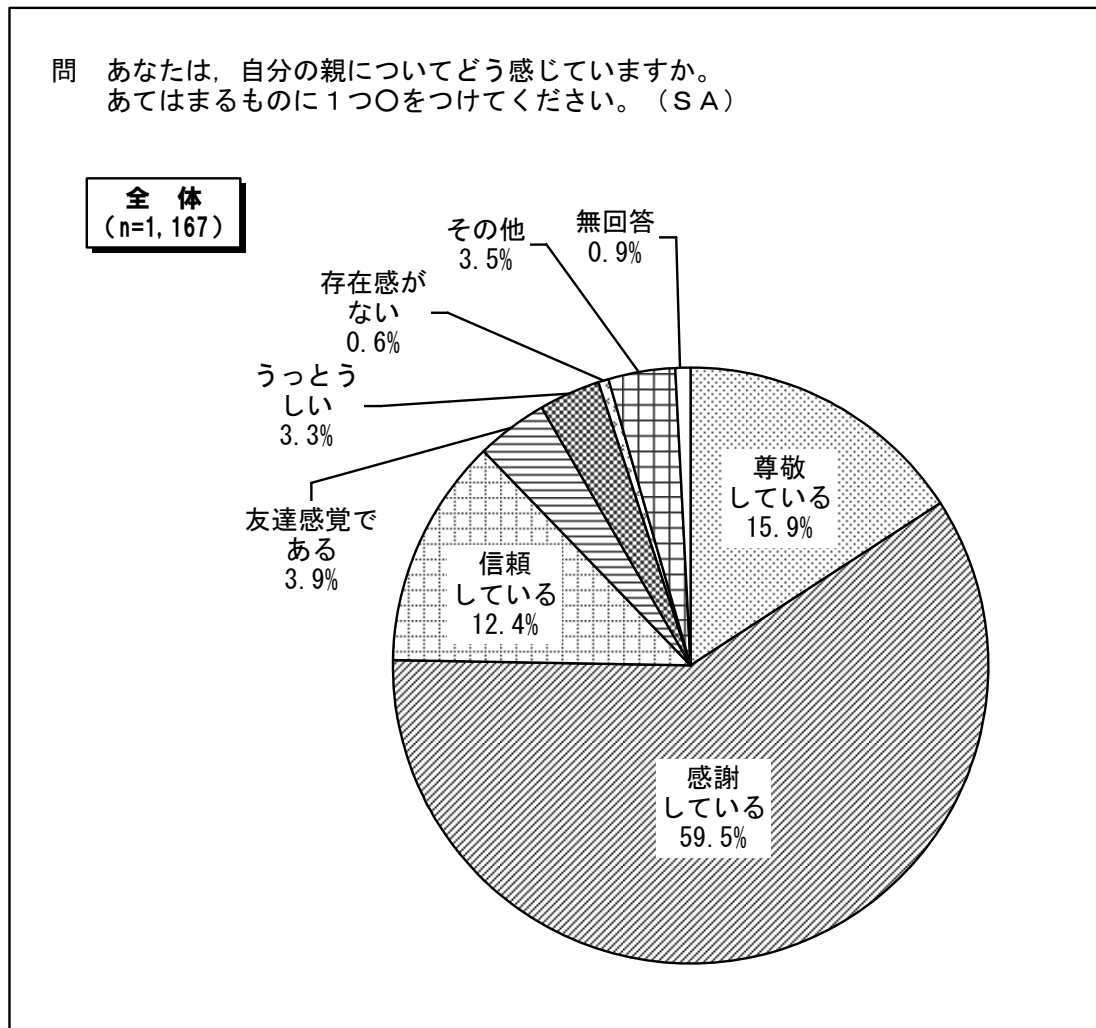
8割強が家族とのコミュニケーションに『満足している』。

### 【全体結果の要約】

「満足している」が4割強（44.7%）で最も多く、次いで「どちらかと言えば満足している」が約4割（39.6%）となっており、この2つを合わせた『満足している』は8割強（84.3%）を占めている。

一方、「どちらかと言えば満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』は1割強（14.9%）と、概ね10人に1人が家族とのコミュニケーションに何らかの不満を持っている。

### ③ 親について



約6割が自分の親に「感謝している」。

#### 【全体結果の要約】

「感謝している」が最も多く、約6割(59.5%)を占めている。以下、「尊敬している」が2割弱(15.9%)、「信頼している」が1割強(12.4%)の順で続く。

「尊敬している」、「感謝している」、「信頼している」、「友達感覚である」を合わせた『肯定的感想』が9割強(91.7%)と、大勢を占めている。一方、「うっとうしい」と「存在感がない」を合わせた『否定的感想』は3.9%と1割に満たなかった。

その他は、「(「感謝はしているが、鬱陶しい」など) 良いところも悪いところもある」(5名)、「何も感じない」「好きじゃない」(各4名)、「尊敬できない」(3名)などが寄せられている。

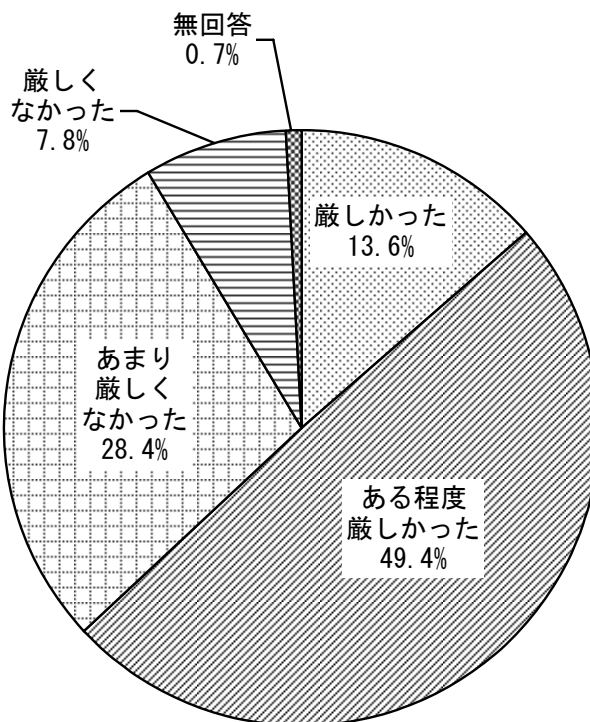


## (2) しつけについて

### ① 自分が受けた家庭でのしつけ

問 あなたの家庭のしつけについてお聞きします。  
あてはまるものに1つずつ○をつけてください。(SA)  
(1) あなたの受けた家庭のしつけについて

**全体**  
(n=1,167)



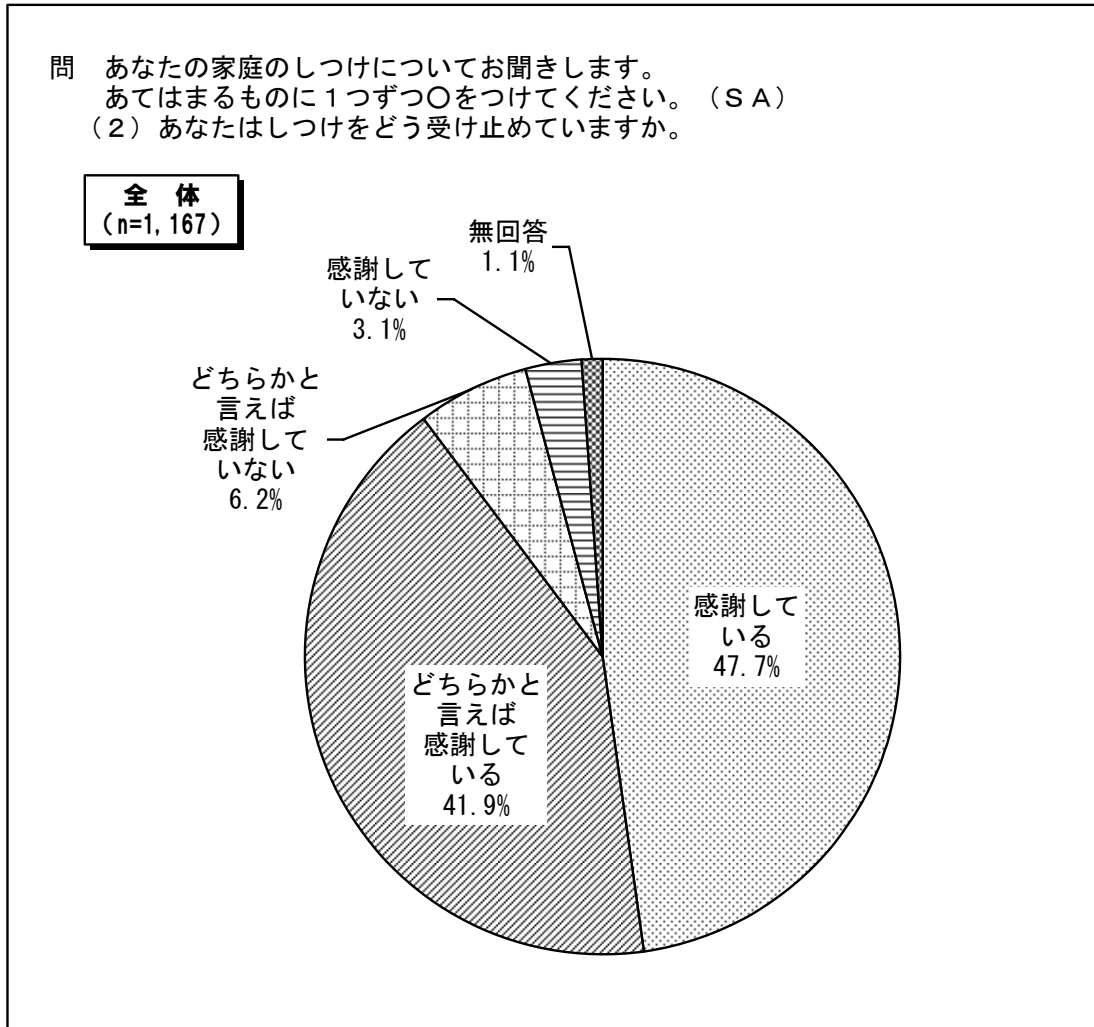
約5割が受けた家庭のしつけを「ある程度厳しかった」と感じている。

#### 【全体結果の要約】

「ある程度厳しかった」が最も多く、約5割(49.4%)を占めている。次いで、「あまり厳しくなかった」が3割弱(28.4%)となっている。

「厳しかった」と「ある程度厳しかった」を合わせた『厳しかった』は6割強(63.0%)で、「あまり厳しくなかった」と「厳しくなかった」を合わせた『厳しくなかった』の4割弱(36.2%)を上回っている。

② 受けたしつけに対する受け止め方



約 9 割が受けた家庭のしつけに『感謝している』。

【全体結果の要約】

「感謝している」が最も多く、5割弱（47.7%）を占めている。次いで、「どちらかと言えば感謝している」が4割強（41.9%）となっている。

「感謝している」と「どちらかと言えば感謝している」を合わせた『感謝している』が、約 9割（89.6%）と大勢を占めている。